

## 1 . 研究業績

### ( 1 ) 原著・報告

Sachiyo Murashima, Kiyomi Asahara

The Effectiveness of the Around-the-Clock In-Home Care System: Did It Prevent the Institutionalization of Frail Elderly?

Public Health Nursing, 20(1), 13-24, 2003

Yumiko Momose, Kiyomi Asahara, Sachiyo Murashima

A Trial to Support Family Caregivers in Long-Term Care Insurance in Japan: Self-Help Groups in Small Communities

Home Health Care Management & Practice, 15(6), 494-499, 2003

Kiyomi Asahara, Yumiko Momose, Sachiyo Murashima

Long-Term Care Insurance in Japan

Disease Management and Health Outcomes, 11(12), 769-777, 2003

Sakiko Fukui, Masako Sakai, Toshie Miyazaki, Hiroko Nagae, Noriko Nishikido, Hiromi Kawagoe

Determinants of the place of death among terminally ill cancer patients under home hospice care in Japan

Palliative Medicine, 17,445-453, 2003

Maria Luisa T. Uayan, Naoko Takeuchi, Sachiyo Murashima

A case report on elderly care in Japan: towards an improved nursing home care in the Philippines

Philippine Journal of Nursing Education, 13(1), 39-41, 2003

Hiroko Ohshima, Sachiyo Murashima, Ryutaro Takahashi

Approaches of Nursing Care for Right Brain-damaged Stroke Patients: Focusing on Neglect and Related Symptoms

Journal of Nursing & Health Sciences, 2004, in press

田口敦子 , 岡本玲子

ヘルスプロモーションを推進する住民への保健師の支援過程の特徴

日本地域看護学会誌 , 6(2) , 19-27 , 2004

村山洋史 , 春名めぐみ , 村嶋幸代 , 吉岡京子 , 永田智子

地域母子保健事業の継続と発展の要因

日本地域看護学会誌 , 6(2) , 55-61 , 2004

錦戸典子，京谷美奈子

産業看護職がかかえる活動上の困難の構造と関連要因

日本地域看護学会誌，6(2)，72-78，2004

永田智子，村嶋幸代，春名めぐみ，北川定謙，倉持一江，古谷章恵，堀井とよみ，湯澤まさみ，田上豊

介護保険施行後の保健師活動に関する調査（第1報） 介護保険業務へのとりくみに焦点を当てて

日本公衆衛生雑誌，50(8)，713-723，2003

影山隆之，錦戸典子，小林敏生，大賀淳子，河島美枝子

公立病院における女性看護職の職業性ストレスと精神健康度との関連

大分看護科学研究，4(1)，1-10，2003

竹内奈緒子，古田正代，上條優子，木村美枝子，松本和史，渡邊久美，上別府圭子

看護におけるコミュニケーション

看護実践の科学，28(9)，66-71，2003

## （2）総説・解説など

Sachiyo Murashima，Azusa Yokoyama，Satoko Nagata，Kiyomi Asahara

The Implementation of Long-Term Care Insurance in Japan: Focused on the Trend of Home Care

Home Health Care Management & Practice，15(5)，407-415，2003

村嶋幸代

看護学の発展に向けた看護系学会の学術的連携 日本看護科学学会が成してきたこと、成そうとしていること

日本看護科学会誌，23(1)，83-88，2003

村嶋幸代

保健師の免許制度は必要 本誌4月号の坪倉論文・菅原論文を読んで

保健婦雑誌，59(6)，536-539，2003

村嶋幸代，田口敦子

地域看護：社会の問題に対処する看護

教育と医学，608(2)，144-154，2004

村嶋幸代，田口敦子

保健師のニュービジョン；現代の保健師 - より健康な地域社会創造の担い手として，そして，自分の仕事の意味と効果を明示できる存在として -  
公衆衛生，68(4)，256-259，2004．

村嶋幸代

「要介護等高齢者」の指標  
保健の科学，45(12)，887-891，2003

村嶋幸代（企画）

焦点 グループ支援のための理論・技術・評価：地域看護に焦点を当てて  
看護研究，36(7)，2003

田口敦子，錦戸典子，竹内奈緒子

保健師活動におけるグループ支援の特徴と意義～これまでの経緯と今後の方向性～  
看護研究，36(7)，527-536，2003

安齋由貴子，都筑千景，横山梓

地域看護活動におけるグループ形成のための理論・技術  
看護研究，36(7)，537-549，2003

錦戸典子，永田智子，福井小紀子

グループ支援におけるアセスメントと評価  
看護研究，36(7)，589-601，2003

村嶋幸代，田口敦子，蔭山正子，都筑千景，安齋由貴子，麻原きよみ，錦戸典子

保健師によるグループ支援活動の理論および実証研究に関する課題  
看護研究，36(7)，609-613，2003

永田智子，村嶋幸代

訪問看護の役割  
からだの科学，232（特別企画 在宅医療），26-30，2003

田中克俊，田中美加，錦戸典子

職場のメンタルヘルス対策 - 予防対策のアプローチと具体的なうつ病対策のすすめ方  
保健婦雑誌，59(5)，394 - 398，2003

征矢野あや子

転倒、起こってしまったら  
おはよう 21，14(8)，28 - 31，2003

征矢野あや子

高齢者の転倒恐怖と安心できる退院指導

NURSE SENKA , 23(12) , 50 - 53 , 2003

征矢野あや子

大腿骨頸部骨折後の高齢者の転倒恐怖と生活

クリニカルカルシウム , 14(3) , 397-401 , 2004

### ( 3 ) 受賞

大島浩子 , 村嶋幸代 , 高橋龍太郎

失認関連症候を有する右大脳半球脳卒中患者の生活障害の経時的変化

平成 16 年 博慈会老人病研究所 優秀論文助成 『高齢社会における医療システムに関する研究』優秀論文賞受賞

### ( 4 ) 著書

Sachiyo Murashima ( 分担執筆 )

Japan (pp.398-403)

C. E. D'Avanzo & E. M. Geissler (Eds.), Cultural Health Assessment

St. Louis, MO: Mosby, 2003

永田智子 , 村嶋幸代 ( 分担執筆 )

高齢者の退院支援

老年医学 update 2003-04 ( 日本老年医学会雑誌編集委員会編集 )

東京 : メジカルビュー , 2003 , 133-140

錦戸典子 , 荒井澄子 ( 分担執筆 )

地域と職域の連携の例

地域特性に応じた保健活動 - 地域診断から活動計画・評価への協働した取り組み - ( 平野かよ子編 )

東京 : ライフ・サイエンス・センター , 2004 , 72-75

## (5) 報告書

村嶋幸代，川越博美，高橋龍太郎，山本則子，永田智子，小林小百合

高齢者の終末期ケアを支える地域ケアシステムの構築に関する研究（主任研究者：村嶋幸代）

厚生労働科学研究費補助金長寿科学総合研究事業平成 15 年度総括研究報告書，2004

村嶋幸代，高橋龍太郎，今福一郎，大島浩子

失認・失行を有する脳卒中患者の生活障害 ～急性期に焦点を当てて看護評価尺度開発に向けて～

（財）三井住友海上福祉財団 2002（平成 14）年度研究助成 平成 14 年度研究結果報告書集 - 交通安全・高齢者福祉等 - ，印刷中

高橋龍太郎，村嶋幸代，今福一郎，永田智子，大島浩子

脳卒中患者の失認・失行と生活障害に関する研究（主任研究者：高橋龍太郎）

厚生労働科学研究費補助金長寿科学総合研究事業平成 14 年度総括研究報告書，2003

錦戸典子，荒井澄子，飯島美世子，田口敦子，中田光紀，平田衛，北條稔，前田一寿，松田一美，三好ゆかり，渡井いずみ，他

中小規模事業場の健康支援に関連する政策・施策・サービスの連携に関する研究 - 最適支援システムの構築を目指して - （主任研究者：錦戸典子）

厚生労働科学研究費補助金政策科学推進研究事業平成 15 年度総括研究報告書，2004

吉岡京子，村嶋幸代

平成 14 年度ユニバーサル財団研究助成

「高齢者のニーズに応じた支援体制構築の方法論の開発」報告書，2004

高橋龍太郎，大島浩子

（財）東京都高齢者研究・福祉振興財団 東京都老人総合研究所 長期特別プロジェクト「老人性痴呆に関する総合的研究」平成 14 年度成果報告書

痴呆の介護と介入研究：痴呆性高齢者ケアの実証的研究 ～認知機能（高次脳機能）障害者のケアに関する研究～ 2003

## ( 6 ) 学会発表

Sachiyo Murashima, Azusa Yokoyama, Satoko Nagata, Kiyomi Asahara, Caroline M. White  
Public health nursing in Japan: After the implementation of the Long-Term Care Insurance  
American Public Health Association 131st Annual Meeting and Exposition, San Francisco,  
California, November 15-19, 2003

Atsuko Taguchi, Reiko Okamoto  
Strategies of Japanese public health nurses of community organization for health promotion  
American Public Health Association 131st Annual Meeting and Exposition, San Francisco,  
California, November 15-19, 2003

Satoko Nagata, Aiko Yanagisawa, Koji Wakabayashi, Koichiro Nagano, Sachiyo Murashima, Yasuyoshi Ouchi  
Discharge planning for the patients who needed to use Long-term Care Insurance services at a university hospital  
7th Asia/Oceania Regional Congress of Gerontology, Tokyo: Tokyo International Forum, November 24-28, 2003

Hiroko Ohshima, Sachiyo Murashima, Ryutarō Takahashi  
A Follow-through Study of Characteristics of Right Brain-damaged Stroke Patients with Neglect and Related Disorders  
7th Asia/Oceania Regional Congress of Gerontology, Tokyo: Tokyo International Forum, November 24-28, 2003

錦戸典子, 遠藤俊子, 京谷美奈子, 池田智子, 江村晴子  
中小事業場における健康づくり - ステップアッププラン参加者の満足度と健康意識の変化  
-  
第 76 回日本産業衛生学会, 山口県, ばるるプラザ, 2003/4/25

吉岡京子, 村嶋幸代, 麻原きよみ  
新規保健事業に反映される地域の健康問題を明確化するためのアセスメント方法の解明  
第 6 回日本地域看護学会, 神奈川県 パシフィコ横浜, 2003/6/7-8

錦戸典子, 京谷美奈子  
産業看護活動上の困難と今後の学習ニーズ  
第 6 回日本地域看護学会, 神奈川県 パシフィコ横浜, 2003/6/7-8

山口佳子, 河野啓子, 錦戸典子, 櫻井尚子, 佐々木美奈子, 荒井澄子, 倉下美和子  
都道府県保健所・政令市型保健所・市町村における職域保健との連携の実態  
第6回日本地域看護学会, 神奈川県 パシフィコ横浜, 2003/6/7-8

田口敦子, 岡本玲子  
ヘルスプロモーションを推進する保健師の住民組織支援過程  
第6回日本地域看護学会, 神奈川県 パシフィコ横浜, 2003/6/7-8

木村まりえ, 錦戸典子, 村嶋幸代, 角口亜希子, 伊達利恵, 長山雅俊, 伊東春樹  
虚血性心疾患経験者における復職状況と職業性ストレス  
第10回日本産業精神保健学会, 大阪府 エル・おおさか, 2003/6/13-14

木村まりえ, 錦戸典子, 村嶋幸代, 角口亜希子, 伊達利恵, 長山雅俊, 前田知子, 伊東春樹  
心筋梗塞および冠動脈バイパス術後の男性患者における運動療法継続状況とその関連要因  
第9回日本心臓リハビリテーション学会, 東京都 シェーンバツハ・サボー, 2003/7/20

吉岡京子, 麻原きよみ, 村嶋幸代  
新規保健事業の起案を円滑に進めるための保健師のアセスメント項目の解明  
第62回日本公衆衛生学会総会, 京都府 国立京都国際会館, 2003/10/22-24

横山梓, 村嶋幸代, 都筑千景, 上野昌江  
地域における育児グループに関する研究・報告の文献検討 アウトカムモデルを用いて  
第62回日本公衆衛生学会総会, 京都府 国立京都国際会館, 2003/10/22-24

錦戸典子, 佐々木美奈子, 河野啓子, 山口佳子, 櫻井尚子, 荒井澄子, 倉下美和子  
職域保健との連携に関する都道府県保健所と市町村の活動の関連  
第62回日本公衆衛生学会総会, 京都府 国立京都国際会館, 2003/10/22-24

田口敦子, 岡本玲子  
住民主体の自主グループづくりを目指した保健師の支援ニーズ  
第62回日本公衆衛生学会総会, 京都府 国立京都国際会館, 2003/10/22-24

岩瀬裕三子, 大野ゆう子, 笠原聡子, 中村亜紀  
高齢者の生きがい支援策の現状と課題について～高齢者の就業に主眼を置いて～  
第62回日本公衆衛生学会総会, 京都府 国立京都国際会館, 2003/10/22-24

松永篤志, 永田智子, 村嶋幸代  
退院支援部署を持つ特定機能病院における病棟看護師の退院支援状況  
第41回日本病院管理学会学術総会, 東京都 京王プラザホテル, 2003/10/30-31

大島浩子，村嶋幸代，高橋龍太郎

失認・失行を有する右大脳半球脳卒中患者の生活障害～急性期から慢性期における変化～  
第 39 回日本老年医学会関東甲信越地方会，東京都 東京都板橋ナーシングホーム講堂，  
2004/3/13

## (7) シンポジウム・セミナー等

村嶋幸代，實成文彦（司会）

津村智恵子，福本恵，高橋千枝，深沢明美，角野文彦（話題提供者）

ワークショップ「保健師の基礎教育のすすめ方」

日本公衆衛生学会 公衆衛生看護のあり方に関する検討委員会 ワークショップ

国立保健医療科学院，2003 年 4 月 19 日

村嶋幸代，島内節（司会）

Kate Gerrish (Speaker)

The 2<sup>nd</sup> International Seminar “The Present Situation of Community Health Nursing and Evaluation Method in the United Kingdom: Construction and Process of the Home Care Evaluation System in National Health Service (NHS)”

第 6 回日本地域看護学会，神奈川県 パシフィコ横浜，2003 年 6 月 7 日

村嶋幸代（講師）

日本訪問看護振興財団 訪問看護集中講義「訪問看護の概要」

東京ファッションタウンビル 2003 年 6 月 19 日

村嶋幸代（講師）

講義「研究計画書の書き方」

東京大学医学部附属病院看護部 2003 年 7 月 15 日

村嶋幸代（講師）

日本看護協会平成 15 年度第 1 回都道府県保健師職能委員長会

講演「21 世紀の保健師のキャリア開発」

東京都 南青山会館，2003 年 8 月 1 日

村嶋幸代，實成文彦（司会）

金川克子，佐甲隆，佐伯和子，平野かよ子（話題提供者）

ワークショップ「公衆衛生看護における人材育成のあり方をめぐって：保健師の卒業後教育・研修のあり方について」

日本公衆衛生学会 公衆衛生看護のあり方に関する検討委員会 ワークショップ

京都府 関西文理学院，2003 年 10 月 22 日



村嶋幸代（講師）

第7回高齢者介護・看護・医療フォーラム

講演「高機能病院からの退院支援」

東京都 砂防会館シェーンバッハ・サポー，2003年10月25日

大西和子，村嶋幸代（司会）

北島謙吾，川口孝泰，馬庭 恭子（シンポジスト）

シンポジウム「地域貢献に焦点を当てた看護実践」

第23回日本看護科学学会学術集会，三重県総合文化センター，2003年12月6～7日

安齋由貴子（司会），田尾雅夫（コーディネーター）

村嶋幸代，佐藤美貴子，千葉裕一，吉田澄恵（シンポジスト）

シンポジウム「専門職としての保健師が行政で力を発揮していくためには」

厚生科学研究費国庫補助金健康科学総合研究事業「住民参加および住民自主グループを推進する政策立案手法」研究班 研修会，宮城大学，2003年12月21日

村嶋幸代（講師）

講演「21世紀の保健師のキャリア開発 地域における保健師活動の新たな展開」

北九州市保健師研修会，北九州市，2004年2月27日

村嶋幸代（講師）

講演「21世紀の保健師に求められる専門性とは」

鳥取県看護協会第2回保健師職能研修会，鳥取県 倉吉交流プラザ，2004年3月27日

甲田茂樹，川上憲人（司会）

錦戸典子，森晃爾，伊藤昭好（シンポジスト）

第47回中国四国合同産業衛生学会シンポジウム「これからの産業保健専門職に求められるスキル」

高知県 高知医師会館，2003年11月16日

錦戸典子（講師）

日本産業衛生学会産業看護基礎講座 「ケア・コーディネーション」

東京都 日本教育会館，2004年2月21日

錦戸典子（講師）

東京都医師会産業医前期研修会 「中小規模事業場における産業医活動と他職種との連携」

東京都 日本医師会館，2004年3月13日

## (8) 翻訳

キャロライン・マッコイ・ホワイト (編)

村嶋幸代, 川越博美 (訳)

いま改めて公衆衛生看護とは：定義・役割と範囲・規範

東京：日本看護協会出版会，2003

上畑鉄之丞 (監訳)

根拠に基づく健康政策のすすめ方：政策疫学の理論と実際 (Eds. R. A. Spasoff)

東京：医学書院，2003

水嶋春朔, 吉岡京子

第1章 政策、公共政策と健康政策(pp3-39)

## (9) その他

村嶋幸代

“誰のためのグループホームなのか”を問い続けた成長の記録

「生き返る痴呆老人 - グループホーム『福さん家』での暮らしと実践」(宮崎和加子・日沼文江著 筑摩書房) に対する書評

看護実践の科学 10月号 2003

村嶋幸代

「本当に大事なこと」が楽しくわかる

「保健活動のための調査・研究ガイド」(中村好一著 医学書院) に対する書評

保健婦雑誌 Vol.59 No.4 2003

## 2. 研究活動

(1) 抄読会 (毎週火曜日) 2003.4/15 ~ 7/15, 後期 9/16 ~ 2004.2/24

4月15日 オリエンテーション

村嶋幸代:平成15年度の開始に当たって 地域看護学教室の目指すものと基本的事項

4月22日 竹内奈緒子, 横山梓:修士論文研究計画報告

5月6日

吉岡京子(文献紹介): Cowley S, Bergen A, Young K, Kavanagh A: Generalising to theory: the use of a multiple case study design to investigate needs assessment and quality of care in community nursing. *International Journal of Nursing Studies*, 37:219-228, 2000.

征矢野あや子(話題提供): 転倒予防自己効力感(FP-SE)の信頼性・妥当性の検討

5月13日

永田智子(文献紹介): Grimmer K, Moss J. The development, validity and application of a new instrument to assess the quality of discharge planning activities from the community perspective. *International Journal of Quality in Health Care*, 13(2):109-116, 2001.

小安美恵子(話題提供): 産後1ヶ月の褥婦の体重の変化の現状と今後の指導のあり方

5月20日

錦戸典子(文献紹介): Anna-Liisa Elo and Anneli Leppanen. Effort of Health Promotion Teams to Improve the Psychological Work Environment. *Journal of Occupational Health Psychology* 1999, 4(2), 87-94.

坂本ちより: 地域看護学会予行

5月27日

岩瀬裕三子(文献紹介): Marian R .Ranks and William A .Banks : The Effects of Animal-Assisted Therapy on Loneliness in an Elderly Population in Long-Term Care Facilities . *Journal of Gerontology MEDICAL SCIENCES* 57A(7) : 428-432, 2002(サポート: 永田智子)

田口敦子(話題提供): 退職者の健康づくりに関する研究

6月3日

Luisa T Uayan(文献紹介): Kiyotake Takahashi, Masao Iwase, Ko Yamashita, Yoshihiro Tatsumoto, Hiroshi Ue, Hirohiko Kuratsune, Akira Shimizu and Masatoshi Takeda. The Elevation of Natural Killer Cell Activity induced by Laughter in a Crossover Designed Study. *International Journal of Molecular Medicine* 8:645-650, 2001

木村まりえ(話題提供): 修士論文経過報告および第10回日本精神保健学会発表予行

6月10日

松崎政代(文献紹介): MacArthur C, Winter HR, Bick DE, Knowles H, Lilford R, Henderson C et al. Effects of redesigned community postnatal care on womens' health 4 months after birth: a cluster randomized controlled trial. *The Lancet* 2002, 359(2): 378-385. (サポート: 小安先生)

村嶋先生(話題提供): 「訪問看護ステーションにおける効果的・効率的な24時間ケアモデルの開発」研究計画

6月17日

大島浩子(文献紹介): Kalra.L, Perez.I, Gupta.S, Wittink.M. The Influence of Visual Neglect on Stroke Rehabilitation . *Stroke*, 28:1386-391,1997.

本田亜起子(話題提供): 高齢夫婦世帯の介護に関連する問題および研究課題

6月24日

横山梓: 修士論文経過報告

Luisa T Uayan: 博士論文経過報告

7月1日

春名めぐみ(文献紹介): Sjogren-Ronka T, Ojanen MT, Leskinen EK, Tmustalampi S, Psysical and psychosocial prerequisites of functioning in relation to work ability and general subjective well-being among office workers. *Scandinavian Journal of Work, Environment & Health*. 28(3):184-190, 2002.

竹内奈緒子: 修士論文経過報告

7月8日

小林小百合(文献紹介): Burgio L, Corcoran M, Lichstein KL, Nichols L, Czaja S, Gallagher-Thompson D, Bourgeois M, Stevens A, Ory M, Schulz R: Judging outcomes in psychosocial interventions for dementia caregivers: The problem of treatment implementation. *GERONTOLOGIST*; 41 (4): 481-489, 2001. (サポート: 村嶋幸代)

木村まりえ(話題提供): 修士論文経過報告, 第10回日本精神保健学会発表報告, 第9回日本心臓リハビリテーション学会発表予行

7月8日

渡井いずみ(文献紹介): Casper WJ, Martin JA, Buffardi LC, Erdwins CJ. Work-family conflict, perceived organizational support, and organizational commitment among employed mothers. *Journal of Occupational Health Psychology* 2002, 7(2), 99-108. (サポート: 錦戸典子)

春名めぐみ(話題提供): 妊娠に伴う心身機能、生活活動および社会参加の変化におけるICFの活用に関する研究

(後期)

9月16日

村嶋幸代(話題提供):「訪問看護ステーションにおける効果的・効率的な24時間ケアモデルの開発」研究計画 その後の経過と方向性

永田智子(話題提供):病院における退院支援の実施が患者の退院後の状態に与える影響に関する研究

9月30日

吉岡京子(文献紹介): McGilton, K S, O'Brien-Pallas L L, Darlington G, Evans M, Wynn F, Pringle D M. Effects of a relationship-enhancing program of care on outcomes. *Journal of Nursing Scholarship*, 35(2):151-156, 2003.

大島浩子(話題提供):失認・失行を有する脳卒中患者の生活障害と尺度の開発に関する研究 ~ the Catherine Bergergo Scale の紹介 ~

10月7日

田口敦子(文献紹介): Resnick B. Health promotion practices of older adults: model testing. *Public Health Nursing* 2003, 20(1), 2-12.

Luisa T Uayan(文献紹介): Ronald A Berk. The Active Ingredients in Humor: Psychophysiological Benefits and Risks for Older Adults. *Educational Gerontology*, 27:323-339, 2001

10月14日

松崎政代(文献紹介): De Vente W, Olf M, Van Amsterdam JGC, Kamphuis JH, Emmelkamp PMG. Physiological differences between burnout patients and healthy controls: blood pressure, heart rate, and cortisol responses. *Occupational and Environmental Medicine*, 2003; 60: supplement I, i54-i61.

錦戸典子(話題提供):中小規模事業場の健康支援に関連する政策・施策・サービスの連携に関する研究 最適支援システムの構築を目指して

10月21日

小林小百合(文献紹介): Heather H. Keller, Amie J. Gibbs, Lynn D. Boudreau, Richard E. Goy, Marg S. Pattillo, Heather M. Brown: Prevention of Weight Loss in Dementia with Comprehensive Nutritional Treatment. *Journal of the American Geriatrics Society*; 51(7): 945 -951, 2003

岩瀬裕三子, 田口敦子, 横山梓, 吉岡京子: 第62回日本公衆衛生学会予行

10月28日 竹内奈緒子, 横山梓: 修士論文経過報告

11月4日

木村まりえ: 修士論文経過報告

田口敦子, 村嶋幸代: American Public Health Association 131st Annual Meeting 予行

11月11日

村山陵子(文献紹介): Watkins LL, Grossman P, Krishman R, Sherwood A. Anxiety and Vagal Control of Heart Rate. Psychosomatic Medicine 60: 498-502 (1998).

渡井いずみ(文献紹介): Mustard CA, Vermeulen M, Lavis JN. Is position in the occupational hierarchy a determinant of decline in perceived health status? Social Science & Medicine, 57 (2003) 2291-2303.

11月18日

岩瀬裕三子(文献紹介): Aleksej Bukov, et al : Social Participation in Very Old Age: Cross-Sectional and Longitudinal finding from BASE : Journal of Gerontology PSYCHOLOGICAL SCIENCES 57B(6) : 510-517, 2002

大島浩子, 永田智子 : 7<sup>th</sup> Asia/Oceania Regional Congress of Gerontology 予行

11月25日

村嶋幸代, 田口敦子 : American Public Health Association 131st Annual Meeting 報告

戸村ひかり : 卒業論文経過報告

錦戸典子 : ICOH Workshop for Human Resource Management in Occupational Health Services 報告

12月2日

松崎政代 : 研究計画報告

横山梓 : 修士論文経過報告

12月9日

小林小百合 : 研究計画報告

木村まりえ : 修士論文経過報告

1月21日 木村まりえ, 竹内奈緒子, 横山梓 : 修士論文発表予行

1月28日 木村まりえ, 竹内奈緒子, 横山梓 : 修士論文発表予行

2月3日 戸村ひかり, 山本千聡 : 卒業論文発表予行

2月10日 戸村ひかり, 山本千聡 : 卒業論文発表予行

2月24日 岩瀬裕三子, 渡井いずみ, 小林小百合 : 研究計画報告

## (2) 研究会

地域看護学教室研究会 (毎週第3金曜日 18:00~20:00)

- |       | 日程             | テーマおよび講師 (敬称略)  |
|-------|----------------|---|
| 第97回  | 2003年<br>4月17日 | 錦戸典子(東京大学医学系研究科・地域看護学 助教授)<br>「産業看護研究の展望」   |
| 第98回  | 5月8日           | 古谷野亘(聖学院大学)<br>「スケール開発の方法と課題」   |
| 第99回  | 5月28日          | 佐伯和子(金沢大学医学部)<br>「博士論文報告:行政で働く保健師のキャリア発達<br>-職務遂行能力と職務満足に焦点を当てて-」   |
| 第100回 | 6月20日          | 黒木保博(同志社大学)<br>「グループワーク支援の理論モデルと援助技術」   |
| 第101回 | 7月3日           | 杉澤秀博(桜美林大学)<br>「定年退職者の生活実態 -地域のマンパワーとしての展望-」  |
| 第102回 | 7月11日          | 山本則子(TBIリハビリテーションセンター)<br>「米国の Nurse Practitioner について: Gerontological Nurse Practitioner」  |
| 第103回 | 9月26日          | 上野昌江(大阪府立看護大学)<br>「児童虐待における保健師による母親への支援に関する記述研究 - “母親のしんどさ” への支援を中心に -」   |
| 第104回 | 11月11日         | Patricia R Liehr (The Texas University)<br>“The meaning of health for Japanese elders<br>~ A mid-range perspective for practice and research ~” |
| 第105回 | 12月12日         | 野村陽子(厚生労働省保健指導室)<br>「最新の地域保健・看護、保健師行政」  |
| 第106回 | 3月16日          | 真山達志(同志社大学 法学部教授)<br>「公共政策づくりの基礎知識と最近の動向」   |

### (3) 研究プロジェクト

錦戸典子, 村嶋幸代, 田口敦子, 永田智子, 麻原きよみ, 安齋由貴子, 蔭山正子, 都筑千景, 吉岡京子, 横山梓, 武内奈緒子, 渡井いずみ, 他

保健師活動におけるグループ支援およびコミュニティ支援プロセスの標準化 アウトカム評価尺度の開発を含めて

平成 15-18 年度科学研究費補助金基盤研究 (B)(2)(研究代表者: 錦戸典子)

菅田勝也, 杉下知子, 数間恵子, 村嶋幸代, 他(村嶋班分担研究者: 萱間真美, 永田智子)  
看護情報の活用をとおした看護の質の向上に関する研究

平成 15-16 年度科学研究費補助金基盤研究 (A)(2)(研究代表者: 菅田勝也)

村嶋幸代, 高橋龍太郎, 永田智子, 鷺見尚己, 春名めぐみ, 木村まりえ, 大島浩子, 松永篤志, 戸村ひかり

高齢入院患者に対する退院支援プログラムの有効性に関する研究

平成 13-15 年度科学研究費補助金基盤研究 (B)(2)(研究代表者: 村嶋幸代)

村嶋幸代, 田口敦子, 麻原きよみ, 安齋由貴子, 酒井太一, 佐藤憲子, 吉岡京子, 横山梓  
電子カルテのための看護用語モデルフレーム開発 - 地域看護活動の意味を表現できるフレーム作成 -

平成 14-15 年度科学研究費補助金基盤研究 (B)(2)(研究代表者 水流聡子)

村嶋幸代, 川越博美, 高橋龍太郎, 山本則子, 永田智子, 小林小百合, 他

高齢者の終末期ケアを支える地域ケアシステムの構築に関する研究

平成 15-16 年度厚生労働科学研究費補助金 長寿科学総合研究事業(主任研究者: 村嶋幸代)

高橋龍太郎, 村嶋幸代, 今福一郎, 永田智子, 大島浩子

脳卒中患者の失認・失行と生活障害に関する研究

平成 14-16 年度厚生労働科学研究費補助金 長寿科学総合研究事業(主任研究者: 高橋龍太郎)

錦戸典子, 荒井澄子, 飯島美世子, 田口敦子, 中田光紀, 平田衛, 北條稔, 前田一寿, 松田一美, 三好ゆかり, 渡井いずみ, 他

中小規模事業場の健康支援に関連する政策・施策・サービスの連携に関する研究 - 最適支援システムの構築を目指して -

平成 15-17 年度厚生労働科学研究費補助金政策科学推進研究事業(主任研究者 錦戸典子)



村嶋幸代，川越博美，宮崎和加子，川越雅弘，太田貞司，島田千穂，田口敦子，龍良子，堀井とよみ，高砂裕子，小林澄子，平林素子，山田雅子，本田亜起子，岩瀬裕三子，大金ひろみ，宮田乃有（主任研究者 村嶋幸代）

訪問看護ステーションにおける 24 時間ケアモデルの開発

平成 15 年度老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業分）

大島浩子，村嶋幸代，高橋龍太郎

失認・失行を有する脳卒中患者の生活障害に関する研究

（財）三井住友海上福祉財団 2003（平成 15）年度研究助成 - 高齢者福祉関係助成 -（研究代表者：大島浩子）

錦戸典子，遠藤俊子，加藤登紀子，深川敬子，京谷美奈子，渡井いずみ

職場のメンタルヘルス対策の実施状況と今後の課題 - 看護職の活用推進と育成プログラムの検討 -

平成 15 年度労働福祉事業団産業保健調査研究事業（研究代表者 錦戸典子）

村嶋幸代，錦戸典子，野村陽子，麻原きよみ，安齋由貴子，田口敦子，永田智子，都筑千景，横山梓，竹内奈緒子，福井小紀子，蔭山正子，加藤典子

東京大学地域看護学勉強会

大橋靖雄，大島浩子（研究プロトコールアドバイザー）

三菱ウエルファーマ株式会社 創薬本部 開発部門 開発第一部

脳梗塞治療薬(エラダボン)市販後臨床試験研究 ～市販後臨床試験研究に向けた modified Rankin Scale の信頼性に関する研究～

村嶋幸代，大島浩子（研究指導）

東京大学附属病院看護部研究チーム 10F 北病棟(耳鼻咽喉科・聴覚音声外科)穴戸亜紀子，石澤千絵，大熊麻記子，菅野葉子

研究テーマ：当科における咽頭摘出者の日常生活上の支援の実態について

### 3. 教育活動

#### (1) 学部講義

##### 1) 地域看護学 3年後期 (4単位)

担当： 村嶋幸代 / 山田雅子 (セコメディック病院看護部) 他

期間： 平成 15 年 10 月 23 日 ~ 平成 15 年 12 月 4 日 木曜日 13:00 ~ 16:10

平成 15 年 12 月 10 日 ~ 平成 15 年 2 月 4 日 水曜日 9:00 ~ 12:10

10月30日(木) 地域看護学の概念、対象と機能、動向 (村嶋)

11月6日(木) 保健師活動の概要 (村嶋)  
地域ケアのデザイン - ニーズ把握から  
評価まで -

11月13日(木) 成人・老人保健活動論 (錦戸)

11月20日(木) 介護保険制度・退院支援 (永田)

11月27日(木) 母子保健活動論 (田口)

12月4日(木) 重症心身障害児への地域看護活動 (小西美代子)

12月10日(水) 危機管理(感染症を中心に) (河西あかね)

12月17日(水) 結核を通じた国際地域看護活動 (山下武子)

1月7日(水) 難病患者への地域看護活動 (小西かおる)

1月14日(水) 在宅ケアの仕組みと看護活動 (山田雅子)

1月21日(水) 訪問看護活動の実際 (山田雅子)

1月28日(水) 地域看護の展開事例 (堀井とよみ)

2月4日(水) 地域看護管理 (村嶋)  
地域ケアの将来像と地域看護の役割

#### 講師

小西美代子 (東京都西部訪問看護事業部 部長)

河西あかね (多摩立川保健所 保健指導担当係長)

山下武子 (財団法人結核予防会事業部長 兼 結核研究所対策支援部長)

小西かおる (東京都神経科学総合研究所 研究員)

山田雅子 (セコメディック病院 看護部長)

堀井とよみ (水口町社会福祉協議会 常務理事)

2) 老人地域看護学 4年前期(2単位)

担当： 村嶋幸代

高橋龍太郎(東京都老人総合研究所)

柳澤 愛子(東京大学医学部附属病院 医療社会福祉部 看護師長)

期間： 前期 平成15年4月9日~5月15日

毎水曜日 9:00~12:10(4月21日は終日、5月15日は木曜日)

- 4月9日(水) 老人地域看護学の枠組み・課題 (村嶋)
- 4月16日(水) 病院から地域へ 退院支援 (柳澤・村嶋・永田)  
ステーション実習オリエンテーション
- 4月21日(月)(終日) 訪問看護ステーション見学実習( )
- 4月23日(水) 高齢者の生活機能・健康問題1 (高橋)
- 4月30日(水) 高齢者の生活機能・健康問題2 (高橋)
- 5月7日(水) 高齢者の在宅ケア・ケアマネジメント (村嶋・永田)
- 5月15日(木) 介護予防・高齢者のリハビリテーション (高橋)

訪問看護ステーション見学実習 実習施設

- 小石川医師会訪問看護ステーション (2名)
- 東京都看護協会千駄木訪問看護ステーション (2名)
- 訪問看護ステーションけせら (2名)
- 浅草医師会立訪問看護ステーション (2名)
- 健和会北千住訪問看護ステーション (2名)
- 健和会鐘ヶ淵訪問看護ステーション (1名)
- 健和会大島訪問看護ステーション (1名)
- セコム新宿訪問看護ステーション (1名)
- セコム大田訪問看護ステーション (1名)
- セコム国立訪問看護ステーション (1名)
- セコム吉祥寺訪問看護ステーション (1名)
- セコム駒込訪問看護ステーション (1名)
- セコム世田谷訪問看護ステーション (1名)
- セコム練馬訪問看護ステーション (1名)

3) 保健指導論 4 年前期 (2 単位)

担当： 村嶋幸代, 錦戸典子

上野昌江 (大阪府立看護大学 地域看護学 助教授)

松田一美 ((財)社会保険健康事業財団 保健部健康指導課 課長)

期間： 前期 平成 15 年 4 月 10 日 ~ 5 月 15 日

毎木曜日 13:00 ~ 16:10

ただし、4 月 14 日(月)、28 日(月)、5 月 8 日(木)は 9:00 ~ 12:10

- |             |                           |                   |
|-------------|---------------------------|-------------------|
| 4 月 10 日(木) | 保健指導概論                    | (錦戸)              |
|             | 保健指導の方法：個別指導(健康相談、健診事後指導) | (錦戸)              |
| 4 月 14 日(月) | 保健指導の方法：家庭訪問              | (上野)              |
|             | 健康診査                      |                   |
| 4 月 17 日(木) | 保健指導の方法：集団健康教育            | (錦戸)              |
|             | 集団指導の立案(演習)               | (田口)              |
| 4 月 28 日(月) | 保健指導の方法：自主グループ育成、         | (田口)              |
|             | 地区組織化活動                   | (錦戸)              |
| 5 月 1 日(木)  | 保健指導の実際：家庭訪問、             | (上野)              |
|             | 健康診査(乳幼児事例)               |                   |
| 5 月 8 日(木)  | 保健指導の実際：個別指導(成人事例、演習)     | (松田、錦戸、<br>田口)    |
| 5 月 15 日(木) | 保健指導の実際：集団指導の実施(演習)       | (村嶋、錦戸、<br>永田、田口) |

4) 看護学の基礎と展開(総合科学：人間・環境一般)

対象：駒場学生

期日・内容：5 月 15 日 退院支援とは (村嶋・永田)

5 月 22 日 地域看護の意義と役割 (村嶋)

5 月 29 日 健康づくりと保健師活動 (錦戸)

5) 看護学入門「地域看護学」(全学自由ゼミナール)

担当：錦戸典子, 永田智子, 田口敦子

対象：駒場学生

期日：平成 15 年 8 月 6 日

内容：龍岡老人保健施設見学実習

6) 健康科学・看護学概論

対象：医学科 / 健康科学・看護学科学生

期日：平成 15 年 12 月 17 日

内容：「地域看護学が目指すもの」(村嶋)

- 7) 内科系統講義「老年病」  
対象：医学科学生  
期日：平成 15 年 5 月 30 日  
内容：「高年者の看護・介護・福祉」(村嶋)
- 8) 介護学総論・介護実習概論  
対象：医学科学生  
期日：平成 15 年 7 月 18 日  
内容：「老年者の介護」(村嶋)

## (2) 学部実習

### [4年生]

期間：平成 15 年 11 月 17 日～11 月 28 日

#### 実習施設

豊島区長崎健康相談所	(2名)
板橋区赤塚健康福祉センター	(2名)
練馬区石神井保健相談所	(2名)
練馬区光が丘保健相談所	(2名)
世田谷区世田谷保健福祉センター	(2名)
世田谷区砧保健福祉センター	(2名)

### [3年生(編入生)]

期間：平成 16 年 2 月 16 日～3 月 5 日

#### 実習施設

江東区城東保健相談所	(2名)
江東区深川保健相談所	(2名)

### (3) 大学院特論

#### 1) 特論

担当：村嶋幸代 / 錦戸典子 / 吉田亨（群馬大学医学部保健学科医療基礎学）

日程：平成 15 年 5～7 月の火曜日または金曜日 13：30～16：00

目的：Community に焦点を当てた地域看護論ならびに地域看護学研究について、テキスト・文献の輪読・討議を通して学ぶ。地域看護の研究について理解を深める。また、地域看護活動の方法論の一つである地域組織活動の理論と応用を学ぶ。

主なテキスト：Allender JA, Spradley BW (2000)

Community Health Nursing: Concepts and Practice (5<sup>th</sup> Ed.), Lippincott

5月13日	(火)	オリエンテーション, 打ち合わせ	(村嶋)
20日	(火)	輪読・討議	(村嶋、錦戸)
30日	(金)	地域における組織活動論 (歴史と理論)	(吉田)
6月3日	(火)	輪読・討議	(村嶋、錦戸)
10日	(火)	輪読・討議	(村嶋、錦戸)
20日	(金)	地域における組織活動論 (活動の実際)	(吉田)
24日	(火)	輪読・討議	(村嶋、錦戸)
7月1日	(火)	輪読・討議	(村嶋、錦戸)
4日	(金)	地域における組織活動論 (ヘルスプロモーション)	(吉田)

#### 2) 特論Ⅱ

担当：村嶋幸代 / 錦戸典子 /

田上豊（三菱総合研究所） / 麻原きよみ（聖路加看護大学）

日程：平成 15 年 10～12 月の火曜日（11/12, 12/3 のみ水曜日） 13：30～16：30

内容：地域ケアシステムに関する研究、および質的研究についての方法論ならびに研究の現状と課題について学ぶ。

10月28日	(火)	介護保険と今後の地域看護	(田上)
11月4日	(火)	24時間在宅ケアシステムの現状と課題	(村嶋)
11月12日	(水)	地域看護学における質的研究 1	(麻原)
11月25日	(火)	在宅ケアの社会経済的効果	(田上)
12月3日	(水)	地域看護学における質的研究 2	(麻原)
12月9日	(火)	訪問看護ステーションの経営	(田上)
12月16日	(火)	地域 - 職域連携ケアシステムの現状と課題	(錦戸)

#### **(4) 卒業論文**

戸村ひかり (指導教官：村嶋幸代，永田智子)

入院中と退院直後から見た退院支援 退院支援のプロセス及び要素の明確化

山本千聡 (指導教官：村嶋幸代，田口敦子)

24 時間 3 交代制をとる訪問看護ステーションの利用状況

#### **(5) 修士論文**

竹内奈緒子 (指導教官：村嶋幸代)

血液透析患者の信念とセルフケア関連要因

田畑まりえ (指導教官：村嶋幸代，錦戸典子)

虚血性心疾患後男性患者の自覚症状、不安・抑うつ、運動実施とその関連要因 労働状況に焦点を当てて

横山梓 (指導教官：村嶋幸代)

1 歳 6 ヶ月児の母親における子育て支援サービスの利用状況、育児不安、精神的健康度とその関連要因

#### **(6) 博士論文**

征矢野あや子 (指導教官：村嶋幸代)

転倒予防自己効力感尺度 (FPSE) の開発、利用可能性の検討